

町長：後ずさりしないよう前向きに進めていきたい

素







 の
考
方
另
少，
極
共
借
金




尻別川寒別地区の堤防


花嫁対策～婚活イベント～

糒地を





> 防
災
対
策
進
渋
況



る 財額（2）積動町長
相
け状助A的る
支況をよになも（1）援を要う取らつ当 し踏請てりばと事 たまさい組町積者 い元れかむと㴍が でいちも し 的消 きる全も行的



## 今回実施した防災訓練は万全な体制だったのか

町長：今回の反省を踏まえて，しっかりやる






9 月に実施された防災訓練（災害本部が設置された中央公園）



## 鈴木 芳幸 議員 … 2 件の一般質問

## 公共用地取得時の単価設定の基準は

町長：適正な価格での取得を基本とする

含やて格き域事体る め地 の事の例的単教育長 た域対事例条比事価比要象例を件較例設の学較因物か集が法と定用校た評 件ら あ近にしに地給も価戸の必て，いよ てつ購食 を別 事 要 し要情に取取近にてにき た茵補応引う隣取のか多る格価と北を栚団 を正じ価引地引具か1。に計隣海得接を成
$\qquad$ の
虽
資
産
䅡
路
線
を
計
 し す
だる
が，北
こ 海
の道
場去
地
北敢
海得
宅21
地
譲
た
際
に
隣
接


本用
と地
し を
て取
い 得
る。
る
る
を
を
基中考
適
正 総
な合
価的
格
を期
も 案
った
てた

資
産
税
線
価
ほ
か
近
隣
a
町長町長設鈴木基 得準本
町
公
共
地
取

す 北
る
海
地道
諘毎
毎
查年
格枀


学校給食センター建設候補地

した たる と道

判来在断ての域

来
的
都
市
計
画
区
域


|  |  |
| :---: | :---: |
| 利 |  |
| 八用は | 最 候 |
| 幡で | 初補 |
| 小きお | に 地 |
| 学る金 | 町 |
| 校とを | 有 |
| 跡いか | 地 |
| 地うけ |  |
| な こ |  |

た本定しに



の重本れ $\qquad$ F実 強
の （3）工 に
ぶ
水
抜
き
ホ
I
リ
グ を請万業質国

は

盛多 勝美 議員 … 2 件の一般質問「人と農地プラン」の取り組み状況は

町長：関係機関の連携のもとに地域と話し合いを持つ


倶知安町農業を代表するじゃがいも畑

面と



圈
$\vdots$
れ
を
き
い
る
も
の
の

 $N 二 0^{\circ}$
就決
振
担
い
手
の
農
隼
積
 は
人
農
地
の
閴
等
解 い
る
の
プ
$ラ$
に
に
い
て

## 盛多



変 し し て い充即 く実した方した地関制方した域係度観制針た話が機の点度 でもし直関周に あの合面の知お本 るにいす連をい来
先難
指
中
岕
先
の
見
に


あ お


育 ど曈が华化課（2）な支サの能伴策で後 のビ象な職統るお拠スふる員保い点の延このに青て化拡長と集よ所 を充保く中るの喫図 青待配合老繁
る子な機置理朽の



 け



討
会
検
誟
紋
告
し
乙

に
考進
が
か
あ
る
の
か。





[^0]

閉校後の利用方法が検討されている東陵中学校校舎


## 桶口 敏昭 議員 … 1 件の一般質問冬期間の「通学路」雪で危険な状態点検や安全対策は万全ですか

町長：関係部局と連携して行う。町民の協力も




対協状携要れ点 し応妿を況し乼た検夏
いなり態所所険施 が建のなと箇じ 5


必 落 歩 点 員
 を
図
り
な
が
5
通
学
路
の連
安今
後
も
関
係
部
局
連
携金
交
付
乙
い
る更
新
電
気
料
な
に
に
補
助町
内
会
防
犯
灯
新
設
や街持
管
理
乙
い
る
通
学
路
の設
置
さ
れて
て
い
る。
町
で
維計
算
や
明
る
さ
に
基
い
し
恿
学
路
の
街
灯
は
照
度 コ奴めトこへ供
な
な
夫
夫
幅
確
保隼路 6
$m$
の
幅
が
が
必
要
狭
い


| 力 分 | 童ど北メ |
| :---: | :---: |
| し把通 | いのに7 ル 教育長 |
| た 握 学 | る注つ条へ |
| いし時 | 意い通ンン西 |
|  | 喚て「通ド小 |
| 解 帯 | 起｀北りの学 |
| 消の | を各線の東校 |
| に状 | お学の生側の |
| 向況 | $こ$ こ校歩協のグ |
| け を | なで道か道ラ |
| 努 十 | つ児なら路ウ |





[^0]:    跡学利校用の
    

